

新年の挨拶

ヘルパーステーション あくていぶ

管理者 安島 智江

新年明けましておめでとうございます。

皆様には平素より、大変お世話になり深く感謝申し上げます。新春のある新聞に障害者スポーツをリードした功績をたたえ、社会福祉賞を受賞された方の記事が掲載されておりました。その強い思いは「障害者が車イスでバスケットをする姿を見る事で一人の人間として正視してほしい」という叫びの裏返しでもあったとのコメントが深く心に残りました。

利用者様お一人お一人の思いを、共に生きていく人間として大切に考え、今年もまい進していきたいと考えております。本年もどうぞご指導の程、宜しくお願い致します。

レジデンスなこそ 施設長 大橋 梨香

新年明けましておめでとうございます。

今年は、利用者数名が2年間の通勤寮での生活を終えて通勤寮を巣立ち、地域で单身生活を始めます。憧れの单身生活を手にするわけですが、現実には单身生活をする事で、施設生活ではみえなかった生活の大変さに直面することと思いません。そんな時にいつでも傍らで支えることが出来る職員でありたいと思います。今年も、職員一同、自己実現を目指して支援をしていきたいと思ひます。

就労継続支援B型 虹のかけはし ワークセンターしおさい・天真庵

管理者 長谷川キヨ子

新年明けましておめでとうございます。

一昨年障害者自立支援法が施行され、3事業所が新体系に移行し、丸1年余を経過したところであり、利用者及び家族の皆様始め、関係者の方々には大変お世話になりました。

通所の事業所の利用者にとって、工賃よりも利用料のほうが多い方もいるなど負担感の大きい形が続いておりましたが、昨年暮れには「障害者自立支援法の抜本的な見直しに向けた緊急措置」が実施される運びとなり、20年度中には利用料の更なる軽減など利用者さんにとって、利用しやすい形になっていくものと期待されます。

また、工賃の大幅アップも大事な目標であり、日々の作業内容や販路の拡大など検討しなければならない課題が山積しています。今後とも、多くの皆様のご協力とご支援を頂きながら利用者の皆さんの幸福の為、職員一同邁進していく所存です。本年もよろしくお願ひいたします。

児童デイサービスチャーむ 日中一時支援事業管理者 小宅 幸恵

新年あけましておめでとうございます。

今年も、チャーむ・ウィズの名前にふさわしく利用者の皆様、地域の皆様に愛され支えられて新しい年を迎えることができたことを心から嬉しく思ひます。

昨年は、日中活動や、各種療法などを通して、利用者一人ひとりが、成功体験を積み重ねて、自信へと繋がってきたようです。

今年も、利用者サービスの向上に努め、利用者の皆様が自らの生きる力を主体的に持てるよう、また、利用者一人ひとりが自分らしく生活ができる豊かな場となるよう支援していきたいと思ひます。

「自分らしく生きる!!」地域生活相談室せんとらる 佐藤 道子

新春のお喜びを申しあげます。

障害者自立支援法において、障がいをもつ方が地域で安心して暮らせるように、相談支援体制の整備や確立が急務とされています。

当事業所は支援費制度施行の平成15年より、法人独自事業として地域の方々の相談支援に当たってきました。平成19年4月よりいわき市の委託を受け、相談者の日々の生活のしづらさや必要としているサー

ビスの利用に向け活動をしております。

しかし、日々活動する中で、地域を知ることや多様な専門職との連携の重要性、相談者の想いを感じる力、そして、相談者が自分らしく生活できるよう、自分に何が出来るか?この仕事の奥の深さを感じています。相談者と共に「自分らしさ」を求め、歩む一年にしたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。